

地对協コーナー

新年おめでとうございます。

昭和44年1月25日の発会式で産声をあげた地对協は、今年25日で丸50年という節目を迎えます。設立当初から「県内における医療および公衆衛生に関することがらを総合的に調査協議し、県民の健康の保持増進に寄与することを目的とする」を掲げて活動しております。今年も、地域医療の推進母体の一つとして、時代の変化や地域特性に対応しながら、活動をより充実させていきたいと考えておりますので、ご指導をお願いします。

今号は、11月に開催された各委員会・WGの報告をお届けします。

皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく、事務局までお寄せください。また、過去の委員会活動などは、地对協ホームページ (<http://www.citaikyo.jp/>) へ掲載していますので、アクセスをお待ちしております。

○医薬品の適正使用検討特別委員会

日時：平成30年11月15日(木) 19時00分

場所：広島県医師会館5階 501会議室

委員長：松尾裕彰

本委員会で作成する職種間での多剤に関する情報共有ツールについて適用範囲を協議した。ツールの具体的な内容については引き続き検討することとし、完成後は試験的に使用した上で、ツールの活用に関するアンケート調査を行うこととした。

また、ポリファーマシーの解決に向けた本委員会の取り組みの周知や、厚生労働省の高齢者医薬品適正使用検討会に関する情報提供を行う場として、特別講演講師を招いた講演会を開催することとした。

報告・協議事項

(1) ポリファーマシーにおける職種間での情報共有について

多剤使用における職種間での情報共有ツール作成に向けて、ツールの適用範囲について協議した。意見交換の結果、「関与する医師が複数名で、生活拠点が非自宅で病院以外である高齢者施設」を対象に、患者の服薬に係わる多職種間の気付きを情報共有できるよう試験的にツールを導入することとした。ツールの様式は、多剤使用による問題の有無を問うチェック項目や、具体的に減薬候補と考えられる薬の名称を記入する欄を設け、記入者の負担を考慮した、簡略化された原案を基に、引き続き委員間で意見交換を行い作成する。

また、完成後は対象施設でツールを試験的に使用し、ツールの活用に関するアンケート調査を行う予定。同調査結果を基にツールの改善を

図るとともにその後の活動方針を検討することとした。

(2) 講演会について

ポリファーマシーの解決に向けた本委員会の取り組みの周知や、厚生労働省の高齢者医薬品適正使用検討会に関する情報提供を目的に、医療・介護関係者を対象とした講演会を今年度も開催することとした。上記調査の結果報告に加え、特別講演では厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課からの講演を予定。

平成31年3月7日(木)19時より広島県医師会館で開催予定。

(3) その他

ポリファーマシーの問題解決に向けた取り組みを行うにあたり、多くの意見をを得ることを目的としたワークショップの開催について提案があった。また、広島県業務課から今期のポリファーマシーの問題解決に向けた取り組みを来期も引き続き行う意向が示された。

○がん対策専門委員会

日時：平成30年11月22日(木) 19時00分

場所：広島県医師会館5階 502会議室

委員長：杉山一彦

国および県指定のがん診療連携拠点病院の指定更新についての方向性の確認、膵臓がん早期発見体制構築に向けたWGの設置について協議した。

報告・協議事項

(1) 国指定がん診療連携拠点病院の指定更新について

国が示した整備指針見直しの概要ならびに国

指定のがん診療連携拠点病院の指定推薦にあたり実施した個別ヒアリング、現況報告についてがん対策課より報告があった。

整備指針のポイントとして、「がん医療のさらなる充実」「病院完結型から地域完結・循環型医療へ」「医療安全のさらなる推進」「指定に関する課題の整理」の4点が挙げられた。指定類型も3つに分けられ、【高度型】と【特例型】が新設された。高度型はこれまでの必須条件に加え望ましい条件の充足や体制整備が求められ、特例型は指定要件が未充足な場合に経過措置的に位置づけられることとなる。

委員からはHIPRACへの紹介についても実績として評価されるべきとの意見があり、広島県がん対策課からも国の指針に沿った集約的医療の形として認められるよう要望を続けると回答があった。

(2) 県指定がん診療連携拠点病院の指定要件の方向性について

平成22年から広島県独自の取り組みとしている県指定がん診療連携拠点病院の指定要件について、国指定の指定要件改定に伴い、改定を

討した。県指定要件は、国指定要件に原則準じるが、各要件を精査し、個別判断項目を別途検討することとした。また、指定要件の未充足時の対応として4年間の指定期間内であっても、毎年指定の取消などを検討することとした。

次回委員会(平成31年2月開催予定)において、県指定がん診療連携拠点病院の指定について検討の予定。

(3) 膵臓がん早期発見体制の構築について

第3次広島県がん対策推進計画において難治性がん、特に死亡者の多い膵臓がんについて早期発見のための医療連携体制の構築に取り組むこととしている。今般、尾三地区における尾道方式による膵臓がんの早期発見体制を参考に全県的な体制整備に向けたWGの設置・検討について県より提案があり、協議した。

本件は広島県が先行している取り組みであり、WGの設置が承認されたが、委員からは今後のアウトカムを見据えた評価基準の設定なども要望があった。今後は委員の選定を進めWGの開催を目指す。

県地对協からの提供資料について

県地对協では以下の県内共通クリティカルパス、パンフレット、マニュアル等を作成しています。ご入り用の際は下記事務局までご連絡ください。

【地域連携クリティカルパス】

- 乳がん患者さんのための「わたしの手帳 Ver.5」
- 肺がん術後患者用「わたしの手帳 Ver.2」
- 心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス
- C型肝炎「わたしの手帳」 など

【パンフレット・マニュアル】

- 広島県のつつが虫病と日本紅斑熱について
- 海外で気をつける蚊媒感染症 デング熱、ジカウイルス感染症(ジカ熱)、チクングニア熱、マリアア
- 麻しんと風しん 大人も注意!
- 医療従事者等における体液曝露事故後のHIV感染防止マニュアル
- ACPの手引 「豊かな人生と共に…」

【報告書】

- 新型インフルエンザに関するアンケート調査報告書

【事務局】 広島県医師会地域医療課 電話：082-568-1511 Eメール：citaikyo@hiroshima.med.or.jp



乳がん患者さんのための「わたしの手帳 Ver.5」



肺がん術後患者用「わたしの手帳 Ver.2」



心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス



広島県内のダニ類媒介感染症 つつが虫病(日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS))



海外で気をつける蚊媒感染症 デング熱、ジカウイルス感染症(ジカ熱)、チクングニア熱、マリアア



麻しんと風しん 大人も注意!



医療従事者等における体液曝露事故後のHIV感染防止マニュアル



新型インフルエンザに関するアンケート調査報告書



ACPの手引 豊かな人生とともに…



C型肝炎「わたしの手帳」

※一部ホームページにて公開中

広島県 地对協 検索

など